



- ① よさに気付き、伸びる子ども
- ② つなかりを大切に伸びる子ども
- ③ 地域とつながり、伸びる子ども

サツマイモの
苗を植えました

おいも 私たちも「つながり、伸びる」



みんなで協力して植えました 地域の方にお世話頂きました 年長さんを優しくエスコート

八森子ども園の年長さんと一緒に全校でサツマイモの苗植えを行いました。耕起やマルチ張りなど準備を事前に済ませてくださった石岡さん、菊地さん、諸沢さん、門脇さん、岡田さん、佐々木さん、須藤さんに深く感謝申し上げます。コミュニティスクールの機能を生かし、地域の方々と連携した特色ある教育活動は、本校の大きな強みです。当日も苗の植え方をご指導いただき、縦割り班で仲よく植え、水をかけました。子どもたちは、これからも水をかけ、草取りをするなど、お世話と観察をがんばって生長を見守り、秋の収穫を待ちます。

地域の方々に感謝するとともに、来年度入学してくる子ども園の年長さんと楽しく触れ合うことができ、まさに本校の今年のテーマ、「つながり、伸びる」を実感できた全校行事でした。

もしも大きな地震が発生したら…!!

地震体験車も来校！いざという時、命を守るための避難訓練！



大人であれば、日本海中部地震や東日本大震災の記憶をお持ちの方も多いことでしょう。時と場を選ぶことなく発生する地震。今回は、地震直後に停電した設定で放送の指示がない状態で避難を行いました。どの子も発生直後から真剣に、迅速に行動できていて立派でした。

避難後、能代消防署の厚意で地震体験車をお借りし、震度別の揺れを疑似体験できました。高学年の代表児童が震度5～6、職員が7を体験しました。部屋を模した車内がガタガタ激しく揺れる様子を見て、子どもたちは地震の恐ろしさを実感していました。職員代表で震度7を体験した私の感想は、「これでは家がもたない…」でした。震度5～6でも家具倒壊など甚大な被害が予想されます。家具の配置や設置を見直す必要を実感しました。事前に備えておくこと、発生直後にすること、避難時にすること…。知識をしっかりと身に付けておくことが大切です。自分の命は自分で守ることができるよう、ご家庭でも是非、お子様と話題にし、確認しておくことで安心です。

全校遠足で県立博物館を見学！



ゾウや鯨の骨格展示にびっくり！

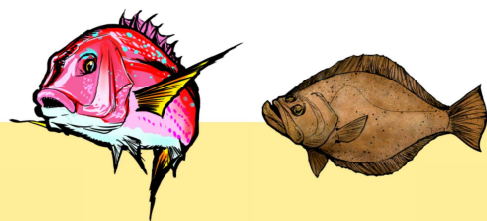


博物館前で記念写真、たくさんめずらしいものに出会えたよ！

旧奈良家邸宅、囲炉裏や自在かぎ

5月30日（金）に、全校遠足で秋田県立博物館に出掛けました。博物館では、秋田県にゆかりのある生物や岩石、樹木などの標本。土器や石器、古文書や昔の道具などの実物が多数展示されていて、子どもたちは熱心に見学をしていました。また、別館の旧奈良家住宅は、江戸時代の豪農のかやぶき屋根の居宅が、現在もほぼそのままでの状態で保存されていて、昔話に出てきそうな土間や囲炉裏などを体験的に見学できました。馬と一緒に家で生活していたこと、多くの使用人が住み込みで働いていたこと、工夫した様々な道具を使って広大な農地でお米を収穫していたことなど、博物館ガイドさんの説明に驚きながら聞き入っていた子どもたちでした。昼には、家族が用意してくれたお弁当を笑顔で食べていた子どもたち。行き帰りのバスの車中では、お友達や先生との会話もはずみ、心に残る楽しい一日を過ごすことができましたようでした。博物館には、東北の各地を旅した江戸時代の先人「菅江真澄」や、昭和から100年の企画展など、まだまだじっくり時間をかけて見学できる内容がありました。もしも機会があれば家族で再度、博物館を訪れ、じっくりと展示物を見学してみるのもおすすめです。

ちょっと気楽に… こちょこちょ話



ランチルームで楽しく給食を食べている高学年の子どもたちに声をかけました。「クイズです！今食べている魚の名前はなんでしょう？」すると…。「鯛？」「鮭ではないよね…」なかなか、答えを見付けられない子どもたち。「イワシじゃない？」。惜しい！しばらくして、ある男の子が「たぶんどけど…」と、正解を答えてくれました。この日のメニューにあったのは、「サンマの甘露煮」。頭と尾はありませんが、かなり実際の姿に近い姿です。海に近い八森に住んでいても、機会がなければ、魚種までは判別できないものなのかもしれません。特に魚は、以前とは違ってほとんどがスーパーなどで加工・パック詰めされて販売されていて、水揚げされた状態での姿を見ることが少なくなってきています。そういえば以前に勤めていた学校では、やはり高学年でも、食べてみて、豚肉と鶏肉と牛肉の区別がつかない子どもが少なからず見られました。野菜などはどうなのかも気になるところです。豊かに便利になった食生活ですが、お米不足の報道が連日のように繰り返されています。今一度、自分たちが今、何を食べているのかについて、少しずつでも関心を高めていけたらいいですね。もしも、お子様と一緒に食材の買い物をする際は、「今日はこの魚を食べようか」という声掛けを変え、「今日はカレーを焼いて食べようか」と工夫して見るのも効果的かもしれません。回転寿司に出掛けた際には、「この皿のお魚を当ててみて」と子どもに問いかけてみるのも楽しそうです。「食」への関心を高めていくことは、ひいては健康や生活への関心を高めていくことにもつながりそうです。「我が家で食べているお米の銘柄は？」、「今日の味噌汁には何が入っているかな？」、「おじいちゃんが今、裏の畑に植えている野菜は何でしょう？」。家庭での語らいに、楽しい学びの話題を取り入れることができれば素敵ですね。